

令和6年度第1回白馬村子ども・子育て会議 会議録		
招 集 年 月 日	令和6年9月11日（水）	
招 集 の 場 所	白馬村役場2階 庁議室	
開閉会の日時 及 び 宣 言	開 会	令和6年9月11日（水）午後2時00分
	閉 会	令和6年9月11日（水）午後3時40分
委 員		
白馬村教育委員会教育長職務代理	幅下 守	出
認定こども園しろうま保育園長	太田 智美	出
白馬村子育て支援ルーム長	武田 恵理	出
サンライズキッズ保育園白馬園長	鈴木 裕樹	出
民生児童委員協議会主任児童委員	岩井 良三	出
民生児童委員協議会受任児童委員	塩島 純子	出
白馬北小学校長	宮澤 和明	欠
白馬南小学校長	菘輪 勝枝	出
信学会白馬幼稚園長	塩島 学	出
公募委員	上村 優衣	出
公募委員	ヒリアー 淳子	出
白馬北小学校PTA会長	降旗 大輔	出
白馬南小学校PTA会長	高田 潤	出
信学会白馬幼稚園PTA会長	谷相 奈弥	欠
認定こども園しろうま保育園保護者会長	濱田 聖	出
事 務 局		
子育て支援課長	内山 明子	出
子育て支援課係長	松澤 拓哉	出
子育て支援課主任	浅川 里佳	出

#### 会議の要旨

- 1 開 会  
子育て支援課 浅川が開会を宣言した。
- 2 あいさつ  
子育て支援課 内山課長があいさつを行った。
- 3 委嘱状交付  
委嘱状を机上に配布し、交付とした。  
任期については、令和6年8月1日から令和8年7月31日までの2年間とする。
- 4 委員及び事務局職員の紹介  
委員及び事務局職員は、順に挨拶をした。あわせて、『資料2』白馬村・子育て会議要綱第4条2項により委員数15名中13名、過半数の出席があることから、会議の成立を報告した。

## 5 会長及び副会長の選任

委員の中からの立候補がいなかったため、事務局案の発表を行った。

### 事務局案

会長 塩島学 氏（信学会白馬幼稚園園長） 副会長 降旗大輔 氏（白馬北小学校 PTA 会長）

上記、事務局案が承認された。

## 6 会議運営に関する確認事項

事務局から『資料2』及び『資料3』に基づき、会議運営に関する確認事項について説明をした。

## 7 協議事項

### (1) (仮称) 白馬村こども計画策定について

『資料4』に基づき、事務局松澤から説明を行った。

[委員] 白馬村こども計画策定に向けて、この会議では何を抛り所とするべきなのか。例えば、自分自身が感じていることを出し合うことなのか、事業計画をつくる骨子を示した上でのその点について検討していくことなのか、策定までの見通しを教えてほしい。

[事務局] アンケート調査結果により分かる住民が何を求めているのかを基本的に骨子とし、それについて委員さんの意見を聞きながらこども計画の策定していく予定。また、今後行うアンケート調査結果によっては、どのように計画を策定していくかについても精査し、今後詳しく示していきたい。

[委員] 白馬村には観光業に従事する家庭が多いため、必然と土日にワンオペで子どもを見ている人が多いかと思う。今後、安全にワンオペができる環境を整えてほしい。

[委員] 計画策定から実行されるまでのスピード感がなさすぎる。計画が実行される間に住民のニーズも変わってしまうため、期限を設けて進めるべきではないか。

[委員] 急な助けが必要な時に頼る人がいない人はどのようにしているのか。

[事務局] ファミリーサポート事業を利用いただいている。しかし、現在はサポーターの登録数が少なく、需要と供給があっていない現状である。今後、社会福祉協議会と連携し、サポーターを増やすための対応をしていく必要がある。

### (2) 白馬村第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査結果並びに次世代育成支援に関する評価について

『資料5』及び『資料6』並びに『資料7』に基づき、事務局松澤から説明を行った。

[委員] より多くの住民の声を反映すべく、アンケートの回答率を上げるために、プライズ用意することはできないか。最後まで回答したら300円のクオカードなどの賞品があれば、回答側も回答意欲が湧くだろう。アンケートの周知に関しては、紙媒体だ

けではなく、村内のインフルエンサーに周知依頼をすることやオープンチャットの活用でもっと住民にリーチするべきだと思う。

[委員] 白馬村に参入してきている企業が増えている中、どこか育休を取りにくい企業が多いように感じる。そのような企業に向けた、子育てに関する企業のあり方についてのセミナーなどを村で行っていただきたい。直接的ではなくとも、それが働くお母さんの支援につながると思う。

### (3) 子育て支援施設の機能について

『資料8』に基づき、事務局松澤から説明を行った。

[委員] 新施設の開設と解体は令和10年度に同時に始まるということか。開設と解体を同時に行うとなると安全面が気になる。

[事務局] 開設後に解体となる。解体時には、工事用車両が園庭の一部を通るようになる予定。その場合、園庭の一部を閉鎖して安全に十分配慮しながら工事を進める。

[委員] 現在の子育て支援ルームの解体後跡地の利用方法は決まっているのか。

[事務局] 新施設の駐車場として利用予定。しかし、現在の支援ルームと農地との間に2メートルほどの段差があるため、新施設の近くまで車で乗り入れられることも必要と考える。ついては、子育て支援ルーム跡地全体を駐車場にするのか、別の利用をすべきなのか今後専門家の意見を踏まえて検討していきたい。

[委員] 子育て支援施設について、どこをメインに、誰を満足させるかを考える必要がある。アンケート結果の中には、年齢別に施設を使い分けられるようにしてほしいとの意見もあった。しかし、学年の壁を越えて関わりを持てるような場所を利用者が一緒に作っていけることが大切だと思う。

### (4) その他 特になし。

## 8 その他

次回第2回子ども・子育て会議の日程案 令和6年11月28日(木)午後2時から

## 9 閉会

子育て支援課 浅川が閉会を宣言した。